

【意見交換会開催の趣旨】

関内駅周辺では、大規模なまちづくりのプロジェクトがいくつも進んでおり、これから大きく変化を遂げようとしています。市はこの機会に、各プロジェクトを繋いでいる【道路】も合わせてリニューアルしていきたいと考えております。

そのために、沿道の皆さまとの意見交換を通じて、道路に対するニーズ等を把握し、歩いて楽しいまちづくりを進めたいと考えています。



写真 再整備の検討内容（市作成）



写真 横浜文化体育館メインアリーナ



写真 現市庁舎街区活用事業

【次回 意見交換会について】

引き続き、沿道の皆さまと意見交換を続けながら、社会実験や道路の再整備の検討を進めていきたいと考えています。しかしながら、新型コロナウイルスの発生により、次回以降の意見交換会の日時は未定となっています。状況を見て、改めてお知らせいたします。

【今後意見交換していきたいテーマ・内容】

社会実験の取組内容、沿道の賑わい創出について（取組内容・体制など）

なお、本事業については、下記の本市ホームページで情報提供しています。

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/doro/jigyo_kaku/mina-bun.html

横浜市 HP

検索

横浜市トップページ暮らし・総合まちづくり・環境道路企画・計画等 みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路の再整備について

【お問い合わせ先】 ※ご質問やご不明な点がございましたら、ご連絡ください。

横浜市 都市整備局 都市デザイン室 担当：山田・桂（意見交換会担当）

TEL：045-671-2023（直通） E-Mail：tb-toshidesign@city.yokohama.jp

（本事業は、道路局企画課と都市整備局都市デザイン室・都心再生課が連携して進めています）

【第2号】みなと大通り＋横浜文化体育館周辺道路 ニュース ～「第2回意見交換会」を開催しました！～

2月22日（土）午後3時から、沿道店舗である北前そば・高田屋関内南口店さんで「第2回意見交換会」を開催しました。第1回意見交換会（12/14）に参加して頂いた方と新たにご参加頂いた方、計6名の方にご参加いただき、活発な意見交換とともに沿道の新たなつながりが生まれました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

当日は、道路再整備事業の概要、関内地区の開発状況、身近な日本大通りの道路整備、道路活用の経緯・取組内容をご紹介した後、道路空間の利活用や、今年秋頃に予定している社会実験等について、幅広く意見交換を行いました。

【第2回 意見交換会の概要について】

① 関内駅周辺地区の主な開発動向と道路再整備の事業概要の説明

港側のにぎわいを陸側に引き込むため、関内・関外をつなぐ道路を周辺事業に合わせて「歩きたくなる道路空間」に改良します。

② 〈事例紹介〉日本大通りの整備や活用の紹介（→裏面 p.2 へ）

第1回意見交換会では、横浜国立大学の野原卓先生からの世界各国または全国各地で取り組まれている事例紹介を行いました。今回は身近な道路整備や道路活用の事例として、日本大通りの事例をご紹介しました。

③ ワークショップ（意見交換）（→裏面 p.3 へ）

自己紹介の後、道路空間の再整備や利活用について意見交換を行いました。また、今年秋頃に予定している社会実験についても、他都市の事例を交えながら意見交換を行いました。



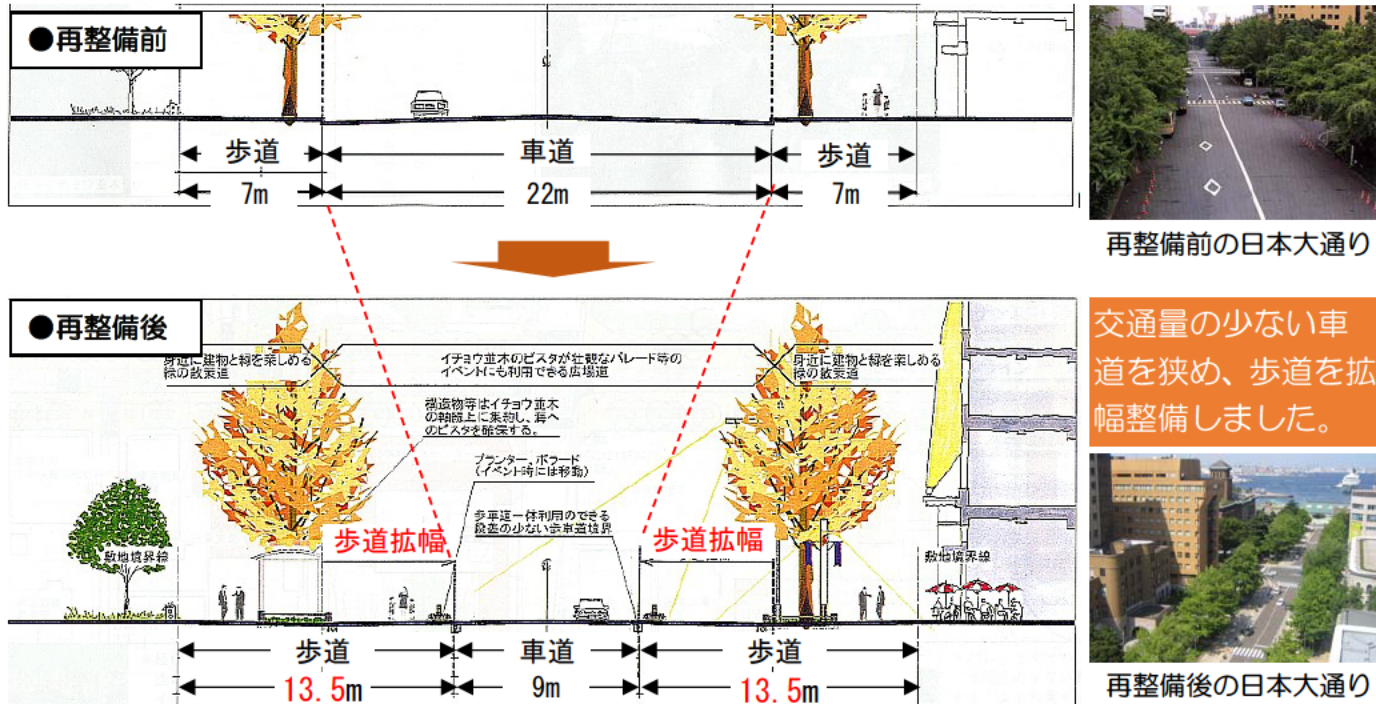
写真 意見交換会の様子

意見交換会の内容

【日本大通りでの道路整備や道路活用の紹介】

●日本大通りでの道路整備の経緯

日本大通りはかつての外国人街と日本人街の間に位置し、火事の際の延焼防止のため、明治のはじめに今の幅広い道路に整備されました。その後、みなとみらい線開通に伴う工事に合わせて車道を狭め歩道を拡幅、沿道の歴史的建造物に合わせたデザインとし、車中心の道路から人にやさしい道路（居心地が良い、憩える道路）としました。



再整備前の日本大通り



再整備後の日本大通り

●日本大通りでの道路活用

整備後、沿道の事業者や地権者の皆さんによる組織を立ち上げ、市も協力しながら社会実験を重ね、拡幅された歩道を活用したオープンカフェを運用しています。また、イベント調整を行い、日本大通りらしい賑わいづくりを行っています。



日本大通りの他、市内のいろいろな街で道路空間等の公共空間を活用した取り組みが行われています！

吉田町まちじゅうピアガーデン urayoko net. 関内フード&ハイカラフェスタ 東横線跡地活用 ZASSOFes.

【意見交換会における主なご意見について】

●道路や店舗の現況

文化体育館側は文化体育館でのイベント時しか人が来ない。

大通り公園等でのイベント時にはお子様連れの方がたくさん来られるが、普段から座ってゆっくりできる所がない。

●利活用アイデア

キッチンカーが止められるスペースがいくつかあって、出店者が順繰りに変わると、一箇所でも色々楽しめるし、お店を追って通りを歩きたくなるのでは。

夜の時間帯もターゲットにしてほしい。素敵な明かりがあって、まち全体を歩きたくなる雰囲気づくりが必要。

沿道店舗等もライトアップ等をしてはどうか。

イベント時だけでなく、日常的に通りを歩かせることが重要だと思う。

恋人同士が手を繋いで歩ける十分な幅のある歩道があれば、“恋をしたくなるまち・横浜”になる！

設置したパークレット*に、地名や昔の写真、路線図等を載せて、通る人が楽しめる仕掛けが欲しい。

●社会実験時の懸念点

新宿のパークレット*のようにデザインされているものがない。

社会実験の実施時期は夏や冬は避け、過ごしやすい季節に行うのがいい。



新宿でのパークレット*

社会実験時の歩道の段差やカラーコーンの隙間は高齢者の通行や子供の飛び出し等に配慮する必要がある。

*パークレット…車道の一部を歩道状にし、歩行者が憩える設えとした空間

●意見交換会でご紹介した他地区の社会実験の様子

【事例1】新宿ストリートシート／東京都

パークレットを設置して、通行する人が憩える空間づくりを行っています！



社会実験時①



社会実験時②

【事例2】大野村夢あかりイベント／岩手県

街の明るさを高めるため、社会実験でその効果を整備前に検証しています！



社会実験時



整備後

出典：ほんぼり光環境計画 HP